

北田原線

第1回 利用促進に向けた三者協議 ニュース

このニュースは、北田原線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で利用促進に向けた話し合いを行った内容をお知らせするものです。

北田原線の初回となる三者協議として、次回以降、利用促進について話し合っていくため、まずは現状の共有と疑問点の解消、利用促進の事例紹介の機会としました。開催にあたり、事前に自治会回覧を通じて、利用促進の協力者募集の呼びかけを行い、参加意向を示された方々がお集まりになりました。説明に応じて、質問・回答を三者で行い、理解を深めながら、今後に向けた意見交換を行いました。

【開催概要】

日時: 令和6年2月21日(水)

19:00~20:30

場所: 南田原町集会所

参加者: 28名(北田原町8名、南田原町16名、星和台4名)

【今回の話題】

1. 北田原線の現状と今後の方向性
2. 取組み事例紹介
3. 今後の予定



当日の様子

1. 北田原線の現状と今後の方向性

奈良交通(株)が運行する北田原線(右図)は、利用者が少ないため、主に通勤・通学時間帯を減便する再編案が市に提出されています。現在の運行を続けるためには、市内全体もしくは北田原線で収支が釣り合う必要があり、住民、事業者、行政が協力し、利用促進に取り組んでいく必要があります。

目 標	・【市内全体】年間約3千万円の収入増	ど ち ら か が 必 要
	➡市民全員が年に1回多くバスを利用すれば達成	
	・【北田原線】1便当たり4.9人の利用増	
	➡沿線住民1人当たり月2.8回多くバスに乗れば達成	

まずは一人一人が利用を増やし、周囲に広げていくことが大切と共有しました。



2. 取組み事例紹介

市内や他市町村での利用促進の取組み事例を紹介しました。

バス運賃 100円DAY (1乗車)
小学生以下は **無料** ワンコイン!
2023年8月3日(水)~5日(金)

R5年8月【生駒市の取組み】
「バス運賃100円DAY」

バスに乗ろうポスターコンクール
作品大募集 令和6年1月9日(火)まで

部門: 以下の3部門で募集しています。(市内にお住まいの小・中学生) 小学生低学年部門(1年生~3年生) 小学生高学年部門(4年生~6年生) 中学生部門

テーマ: 「いそかわ」の「のってわくわくするバス」 小学校高学年・中学生部門/バスと共にある暮らし

R5年12月~【他路線三者協議の取組み】
「バスに乗ろうポスターコンクール」

鹿ノ台コミバスニュース No.3

「スーパーいそかわ」協賛
コミバスに乗って、いそかわの
買い物券をゲットしよう!

キャンペーン期間中にコミバスを利用して、「いそいきホール前」で10回乗り降りすると、「いそかわ」から提供いただいた500円買い物券をゲットできます!

★買い物補助券: 「いそいきホール前」で乗り降りする際に、1回につき1枚 買い物補助券をバスの運転手がお渡しします。
★買い物券の提供: 買い物補助券が10枚貯まると、いそかわの店頭で500円の買い物券と交換します。
★キャンペーン期間: 2022年12月26日(月)~2023年3月31日(金)
★買い物券有効期間: 2023年1月4日(水)~2023年4月30日(日)

R4年12月~【鹿ノ台自治連合会の取組み】
「鹿ノ台線スーパーいそかわ買い物補助券」

3. 三者協議の中で出た主な意見

- 意見 バスの運賃が上がり、コロナ禍も落ち着き、観光客も増えている。それでも減便を行う必要があるのか。
- 回答 運賃改定は収支改善ではなく、運転者不足の解消に向けた待遇改善が主な目的。コロナ禍から回復したといってもコロナ禍前と比べると9割程度の回復に留まる。北田原線の赤字は大きいですが、市全体で収支が釣り合えば路線維持は可能。【奈良交通(株)】
- 意見 通勤・通学の時間帯の減便は影響が大きい。減便するにしてもその時間帯は避けてほしい。
- 回答 朝夕の通勤・通学の時間帯が、バスと運転者の一番必要な時間帯で、収支改善を図るためには、その時間帯の減便が必要。【奈良交通(株)】
朝夕の減便を防ぐために、通勤・通学利用者をターゲットにした取組みが効果的ではないか。【生駒市】
- 意見 道が狭いなどの問題があるのかもしれないが、もっと地域を幅広くカバーするようバスを運行してほしい。減便だけでは不便になるだけなので、運行ルート工夫して利便性を上げることも検討してほしい。
- 回答 新たな需要の掘り起こしについては検討が必要であると認識しているが、路線を維持するだけの利用を確保するためには、多くの利用目的が集中する駅を中心とした路線を考えることが必要であることをご理解いただきたい。【奈良交通(株)】
- 意見 利用促進を進めていくにあたり、事例を示してもらわなければ取り組んでいくことが難しい。運賃改定で収支状況が変化しているはずなので、最新の数字がわかり次第教えてほしい。
- 回答 令和6年2月に運賃改定した直後のため、まだ実態はつかめていない。数字がわかれば共有する。【生駒市】
※利用促進の事例は、一番下の二次元コードから生駒市 HP の「第1回北田原線三者協議資料」をご参照ください。
- 意見 再編案の実施は令和7年3月まで延期となっているが、それに向けたスケジュールを示してほしい。また、三者協議に参加できない人の意見も、次回までに持ち寄る方法(ポストイット配布など)を検討してほしい。利用促進策として、バスへの自転車持ち込みを可能にするのが効果的だと考える。
- 回答 ・再編案について、奈良交通(株)も利用者に影響のでる減便を避けたいという思いは同じなので、まずはこの三者協議で取組みを検討、実施し、利用者増加の兆しを示すことが大切。
・バスへの自転車持ち込みについて、意見として提案すれば事業者の取組みとして検討いただけるはず。提案を実現いただいた事例として、別路線の三者協議の取組みである「バスに乗ろうポスターコンクール」では、奈良交通(株)の協力で、最優秀作品3枚をバスにラッピングしていただける予定。
・参加できない方の意見は、ぜひ地域の皆さんで集めていただき、次回以降に持ち寄ってほしい。【生駒市】
- 意見 若い世代をターゲットにした取組みとして、動画配信サイトの活用も考えられるのでは。
- 回答 若い世代も含めて、色々な意見を集めて、今後の三者協議でより良い取組みとしてブラッシュアップしていければと考えている。【生駒市】

4. 今後の予定

利用促進のアイデアや協力者の集まり状況を確認しながら、第2回北田原線三者協議の開催準備を進め、次回以降は、具体的な利用促進の取組みを検討・実施していきます。

5. 利用促進のアイデア・協力者の募集

今後利用促進の取組みを検討・実行していくためには、今回お集まりいただいた方々に加え、さらに地域が丸となって取組みを進める必要があります。利用促進のアイデアをお持ちの方、「こんなお手伝いならできる」という方は、ぜひ次回以降の三者協議にご参加ください。三者協議への参加が叶わない方は、地域の方や、生駒市の下記連絡先までご意見やアイデアをお知らせください。

